

南都明日香ふれあいセンター

犬養万葉記念館

web <http://inukai.nara.jp/>
tel 54-9300
fax 54-4200
mail info@inukai.nara.jp

● 明日香村の万葉歌碑を歩く⑫

いぐし 斎串立て みわ まつ 神酒すゑ奉る はふりへ 神主部が
うずの玉蔭^{たまかげ} 見ればともしも

巻 13・3229 作者未詳

神主が神をまつる時の様子を詠んでいます。「斎串」は神前に立てる聖なる串で、神を招きます。現代の祭祀に用いられる御幣や、地鎮祭で四方に立てる竹などに通じるのでしょうか。御神酒を捧げまつる神主たちの髪飾りのかずらは見るからに心引かれると、神事全体から神主、そして髪飾りへと焦点が絞られています。「神主部」は注釈書によっては「かむぬし」ともよまれています。

歌碑は明日香村在住の書家、鈴木葩光さんの揮毫で平成23年に建てられました。村内に同じ歌の歌碑がもう1基あるのをご存じでしょうか。



▲ 明日香村飛鳥
(飛鳥坐神社 本殿下)

3月の予定

3月 3日(木) みんなで歌おう懐かしの歌 11時～12時 500円

3月 20日(日) 岡本三千代の万葉ゼミ 13時～15時 参加費：1,000円(要予約)

会場：明日香村商工会館 2階会議室 (開場：12時30分)

※申し込み・詳細の問い合わせは犬養万葉記念館まで

明日香村図書室だより

新 着 図 書 案 内

『かぞえきれない星のその次の星』 重松清 KADOKAWA
『ペッパーズ・ゴースト』 伊坂幸太郎 朝日新聞出版
『ぼくはイエローでホワイトで ちょっとブルー 〈2〉』 ブレイディみかこ 新潮社
『さよならも言えないうちに』 川口俊和 サンマーク出版
『倒産続きの女』 新川帆立 宝島社
『せき越えぬ』 西條奈加 新潮社
『老後の資金がありません』 垣谷美雨 中央公論新社
『店長がバカすぎて』 早見和真 KADOKAWA
『100万回死んだねこ覚え違いタイトル集』 福井県立図書館
『砂に埋もれる犬』 桐野夏生 朝日新聞出版

おしりたんてい
『むらさきふじんのあんごうじけん』
『やみよにきえるきょじん』
『ふめつのせつとうだん』
『かいとう VS たんてい』 トロル ポプラ社
かいけつゾロリ
『ドラゴンたいじ』
『きょうふのやかた』
『まほうつかいのでし』
『大かいぞく』
『ゆうれいせん』
『大きょうりゅう』
『きょうふのゆうえんち』
『ママだーいすき』
『だいかいじゅう』 原ゆたか ポプラ社

※かいけつゾロリは、痛んだ本を新しいものに替えました。みんなで大切に読みましょう！

休館日のお知らせ：3月21日(月・祝)

明日香村図書室 明日香村大字川原9番地の3 (公民館向かい2階)

☎ 54-4430 / 開館時間：9時～17時

12時から13時の間は図書室を閉めさせていただきます。
上記時間中の返却は、ポストをお願いします。(DVDは不可です。)

公民館からのお知らせ

問い合わせ：明日香村中央公民館 ☎54-3636

3月休館日：21日（月・祝）

3月の講座

☆飛鳥史学文学講座

【日時】 3月6日（日） 13時～15時

【場所】 関西大学100周年記念会館

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3-35

【講師】 明日香村教育委員会文化財課課長補佐 関西大学非常勤講師 西光 慎治

【内容】 高松塚古墳「壁画」発見50周年 蘇我氏の「都」構想と日本国創成の軌跡
—蘇我氏関連遺跡群から中尾山古墳へ—

※明日香村在住の方・関西大学学生・本講座に興味のある中高生は受講料無料です。

「関西大学飛鳥文化研究所」（明日香村稲渕816-1）にも会場を設け、中継をします。

明日香村の皆様のご受講を、心からお待ちしています。

【問い合わせ】 関西大学教育後援会 ☎06-6368-0055



公民館だより

☆着付けします！

卒業（園）・入学（園）式に着物で出席しませんか？

公民館で活動している「着付け会」の皆さんが、日頃の腕前を活かし着付けをしてくださいます。ご希望の方は、下記へお申し込みください。

【料金】 無料・5名まで 【日時】 幼稚園・小学校・中学校の式当日

【申し込み・問い合わせ】 着付け教室 米川さん ☎54-4310

短歌

・久々に 顔を合わせし 八人は

お節囲みて 話しもつきなん

吉田 清子

・シクラメンの 固きつぼみは 鶴のごと

首かしげつつ 紅色ほどく

西村 道子

・山茶花の つぼみ拾ひて 盃に

浮かべ愛でゐる 食卓の上に

森田 幸子

・飛鳥社の 鳥居くぐりて 初詣

靈氣漂う 柏手ひびく

松本 義夫

・ひと枝の 蠟梅かざる 座敷への

夜の廊下に ゆれる花の香

奥 まさみ

・室外の 水道栓に 布を巻き

防寒なしぬ 宇陀は寒けく

立見 千代子

・初春を 寿ぐ空の 高くあり

明日を創りし 侍の居て

寶蔵 八重子

・床の間に 若松いけて 晴れ晴れと

整う部屋に 除夜の鐘聞く

脇田 智子